2026 年 11 月
住宅金融支援機構

国際・調査部

住宅ローン利用者の実態調査結果
＜住宅ローン利用者調査（2026 年６月調査）＞
（概要）

Ⅰ 調査の概要

2025 年 10 月から 2026 年３月までの間に実際に住宅ローンを利用して住宅を取得された方を対象に、利用した住宅ローンや金利リスクに対する意識等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

なお、本調査（2026 年度６月調査）から調査委託機関が変わり、それに伴ってアンケート回答者の集団も変わっております。また、調査精度の向上を目的に設問を一部見直しました。これに伴い、回答者の属性等に変化が生じています。

（参考）調査実施時期：2026 年６月 22 日～７月３日、回答数：599 件

Ⅱ 調査結果の主なポイント

＜ ＞は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

１．金利タイプ ＜p. 8＞
－「変動型」が最も多く 66.9%－

「変動型」　　：66.9%
「固定期間選択型」：19.7%
「全期間固定型」　：13.4%

２．今後１年間の住宅ローン金利の見通し ＜p. 16＞
－「現状よりも上昇する」が最も多く 71.3%－

「現状よりも上昇する」：71.3%
「ほとんど変わらない」：19.5%
「現状よりも低下する」：　3.3%
「見当がつかない」　　：　5.8%

３．住宅ローンの金利リスク理解度＜p. 17＞
－金利リスク（将来、金利上昇した場合に、返済額がどれくらい増えるか）について、「理解しているか少し不安・よく理解していない・全く理解していない」と回答している方の合計が 47.8%－

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ（https://www.jhf.go.jp/about/research/loan/user/index.html）に掲載